

## 地域学校協働本部と学校運営協議会を一体的に進める師勝北小学校区

### 1 学校規模等

- ・通常学級 15、特別支援学級 3、計 18 学級 全校児童 427 人
- ・昭和 48 年設立。田園、住宅街が広がる静かな地区である。南北に主要幹線道路が通る。

### 2 設置関係

#### (1) 北名古屋市

- ・設置開始時期 平成 24 年度 市内 3 小学校に加配教員を各校 1 名配置  
平成 26 年度 市内 3 小学校に学校運営協議会設置  
平成 27 年度 市内全小学校に学校運営協議会設置  
平成 28 年度 「北名古屋市学校支援地域本部」を「北名古屋市地域学校協働本部」へと発展  
平成 29 年度 市内全小中学校に学校運営協議会設置
- ・行政関係部署 北名古屋市教育委員会 学校教育課、生涯学習課

#### (2) 師勝北小学校

- ・設置開始時期 平成 27 年度（9 年目）
- ・学校運営協議会委員

【地域】地区学校協働活動委員（3 名）、大学教授（1 名）、自治会長（2 名）、家庭教育推進関係団体代表（1 名）、親の会会長（1 名）、認定こども園園長（1 名）、児童館館長（1 名）、ボランティアクラブ代表（1 名）、PTA 会長・副会長（2 名）、元 PTA 会長（3 名）（計 17 名）

【行政】学校教育課教育指導員（1 名）

生涯学習課統括的な地域学校協働活動推進員（1 名）（計 2 名）

【学校】校長、教頭（計 2 名）【総計 21 名】

### 3 当日の視察より

#### (1) 視察内容

- ・プレゼンによる概要説明
- ・校内掲示物等参観
- ・学校運営協議会参観
- ・学校運営協議会委員と小学校との交流会参観



【2022 北名古屋市コミュニティスクール活動報告書より】

## (2) 運営協議会の様子

- ・地域学校協働本部と学校運営協議会を一体的に進めるので、運営協議会で夏に行われた「夜の学校で遊ぼう」の反省が中心に話し合われていた。
- ・今回の企画「夜の学校で遊ぼう」の中に防災教育（避難所体験）も行っており、地域と学校がともに防災に取り組んでいる様子が分かった。
- ・行政の立場で、学校教育課と生涯学習課の方が関わっている点は、予算面の確保や各団体のつなぎ役としての意味があり、地域と学校の架け橋となっていると感じた。



【運営協議会の様子】

## (3) 学校運営協議会委員と小学校との交流会の様子

- ・テーマ「地域の子どもたちをどう育てていくか」～地域・学校ができること～として、5グループに分かれて話し合いが行われた。
- ・地区、親、学校の立場で、子どもたちのためにどんな活動ができるかを話し合っていた。それぞれの立場で何ができるかを積極的に意見交換して、ロイロノートにまとめるようにしていた。
- ・今年度異動してきた教職員も多いようで、学校運営協議会委員との顔合わせの意味合いもあったと感じた。地区の方も教職員も当事者意識をもつために意味のある活動だと思った。



【交流会の様子】

## 4 年間計画概要

	事業等		事業等
4月		10月	あいさつ運動
5月		11月	あいさつ運動
6月	第1回運営協議会、なかよし池整備	12月	第4回運営協議会
7月	第2回運営協議会、納涼盆踊り、子ども水中運動	1月	
8月	夜の学校で遊ぼう（避難所体験）	2月	第5回運営協議会
9月	第3回運営協議会、あいさつ運動	3月	
通年	定期クリーンボランティア（月1回）、読み聞かせボランティア（学期に1回全学級）、図書館整備、交通指導、学習支援		

## 5 視察所感

地域の中には、必ず学校の力になりたいという人材がいる。その方をボランティアとして活躍できるように学校のニーズをしっかりと示し、学校が協力して進めていくことが大切だと感じた。

全職員にCSのことを周知し活動できるようにするために、学校運営協議会委員と小学校教職員との交流会をもつのは、有効であると感じた。